

実施計画に係る事業進捗状況

令和3年11月16日

独立行政法人水資源機構

関西・吉野川支社淀川本部

丹生事務所

令和3年度の実施内容について（水機構）

①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備（道路原形復旧及び改良）

- ・路肩補修などの原形復旧と滋賀県からの施工受託による拡幅工事を実施
（R3年度:約 3.3km 施工中）、（R3年度:斜面对策 1箇所 施工中）【実施中】 現地視察箇所
- ・橋梁整備（R3年度:6橋実施設計、12橋の橋検討業務を実施）
- ・工事用道路2号線一部区間の滋賀県への部分引き渡しを完了
（R3年度:橋梁下部工 完成）、（R3年度:上部工工事 着手予定）【実施中】 現地視察箇所

②-2 工事用道路として利用した市道奥川並線（路肩補修等）

- ・R3年度上半期に6箇所のうち、3カ所の整備が完了。今後、不陸整正の実施を予定

⑪-2 トレイル道の整備（調査施設撤去時の作業道）

- ・R3年度は田戸地区の横坑閉塞の作業道を兼ねたトレイル道整備を施工中

⑪-3 河川へのアクセス道の整備（道路原形復旧の一環）

- ・現県道整備にあわせ、河川のアクセス道の整備（R3年度:3箇所予定）

⑬-2 ダム事業を通して収集した地域資料の活用

- ・水機構が保有する地域資料を、「茶わん祭の館」に設置予定のコーナーで使用する資料として譲渡。

⑭-1 残存山林の補償

- ・補償対象地の権利関係確認のため、多数存する未相続地の相続調査及び地権者との補償協議を実施中。
引き続き、補償契約の進捗を図る。（R3/10現在:進捗率:約36%（1,160ha／3,150ha））

⑭-3 買収済み用地の維持管理

- ・買収用地の対応について協議、維持管理を継続（R1年度～）

⑭-4 集落跡地の整備（道路原形復旧の一環）

- ・土地・施設管理者の調整後に機構にて整備を予定。

⑭-6 付替県道妙理谷工区の管理

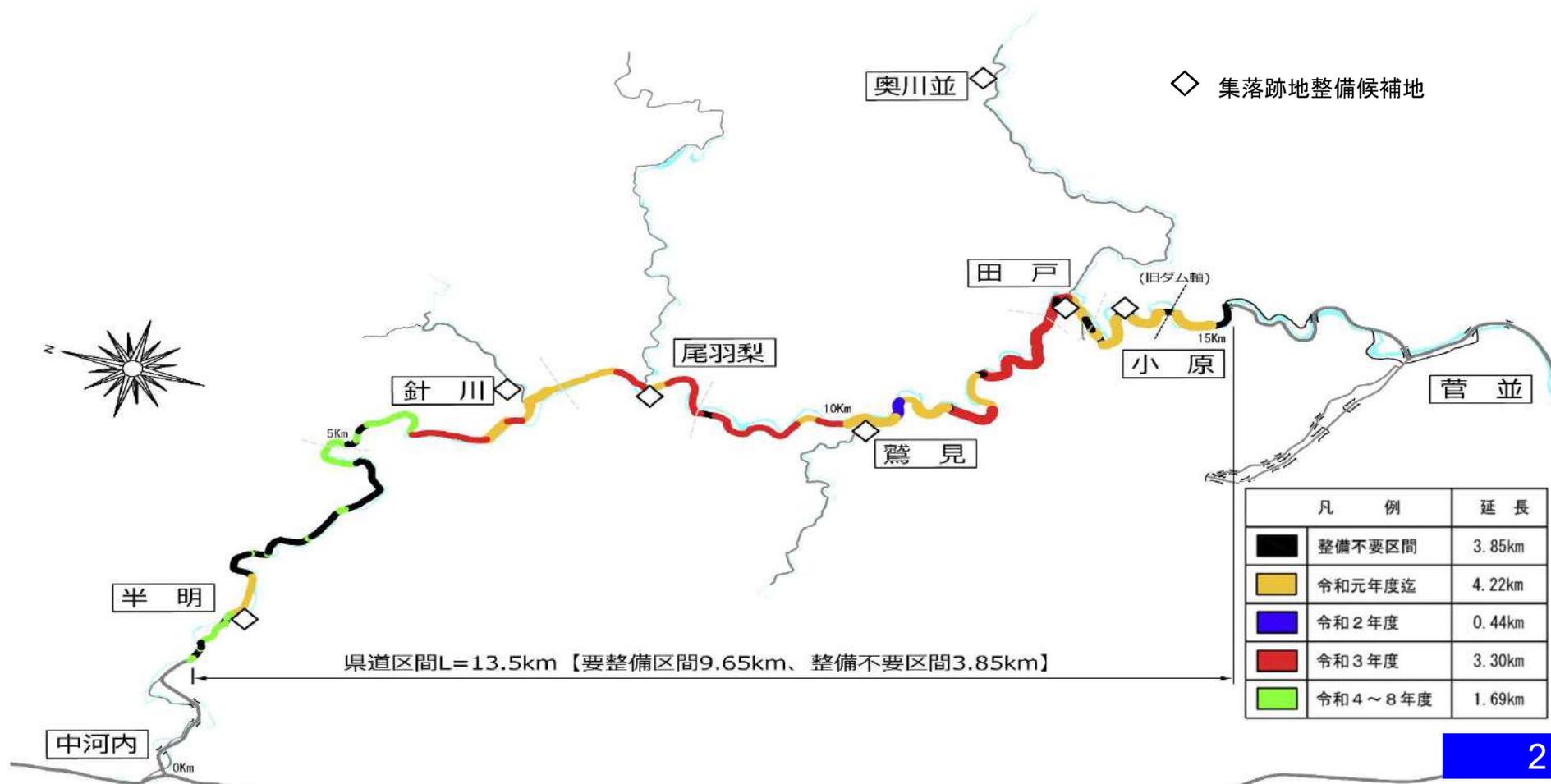
- ・関係者で合意後、R3年度末より設計等を実施予定。なお、水機構にて管理を継続（R1年度～）

⑮-1 発生土受入地の利活用策に沿った基盤整備等 【実施中】 現地視察箇所

- ・八田部:エゴマ栽培の試行を実施（約40m²）。今後の利活用については検討中。
- ・北海道:水機構において実施可能な基盤整備等の検討は継続。今後の利活用については検討中。

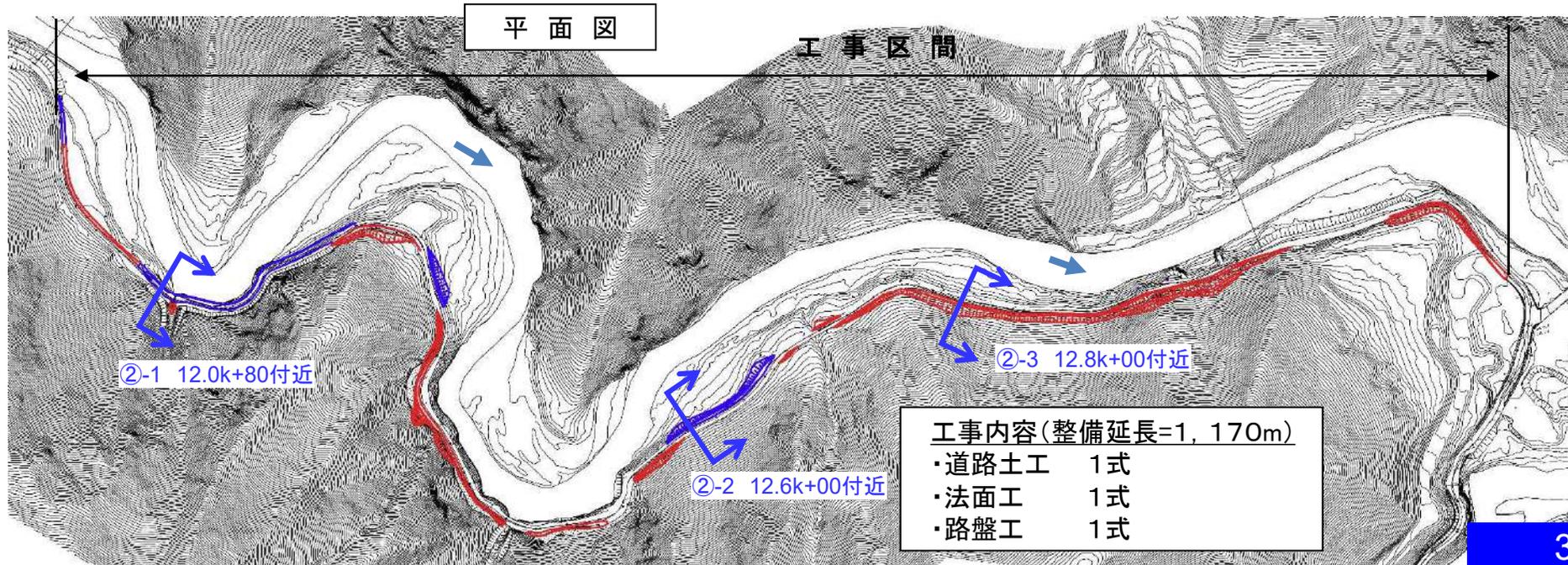
- ①－1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備
- ⑪－3 河川へのアクセス道の整備（道路原形復旧の一環）
- ⑭－4 集落跡地の整備（道路原形復旧の一環）

- ・滋賀県の拡幅工事（水機構が滋賀県より施工受託）と併せ道路原形復旧を実施。
- ・道路整備箇所 R3年度 施工延長 3.3km（施工中）
- ・現県道整備にあわせ、河川へのアクセス道の整備を実施（R3年度：3箇所予定）
- ・現県道、市道整備にあわせ、集落跡地の整備を実施（R2年度：小原地区基盤整備）



①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

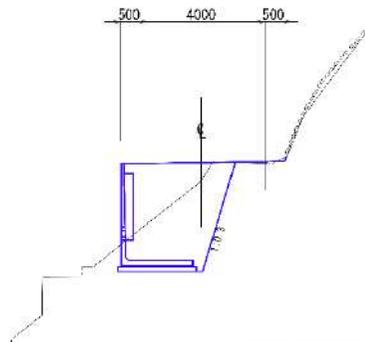
R2年度～施工中



①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

R2年度～施工中

12.0k+80付近 標準断面図②-1

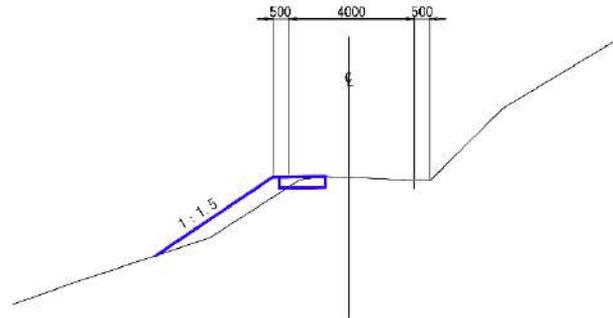


施工前



施工中

12.6k付近 標準断面図②-2

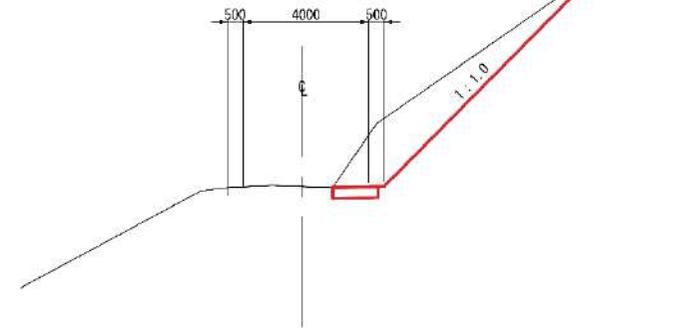


施工前



施工中

12.8K付近 標準断面図②-3



施工前



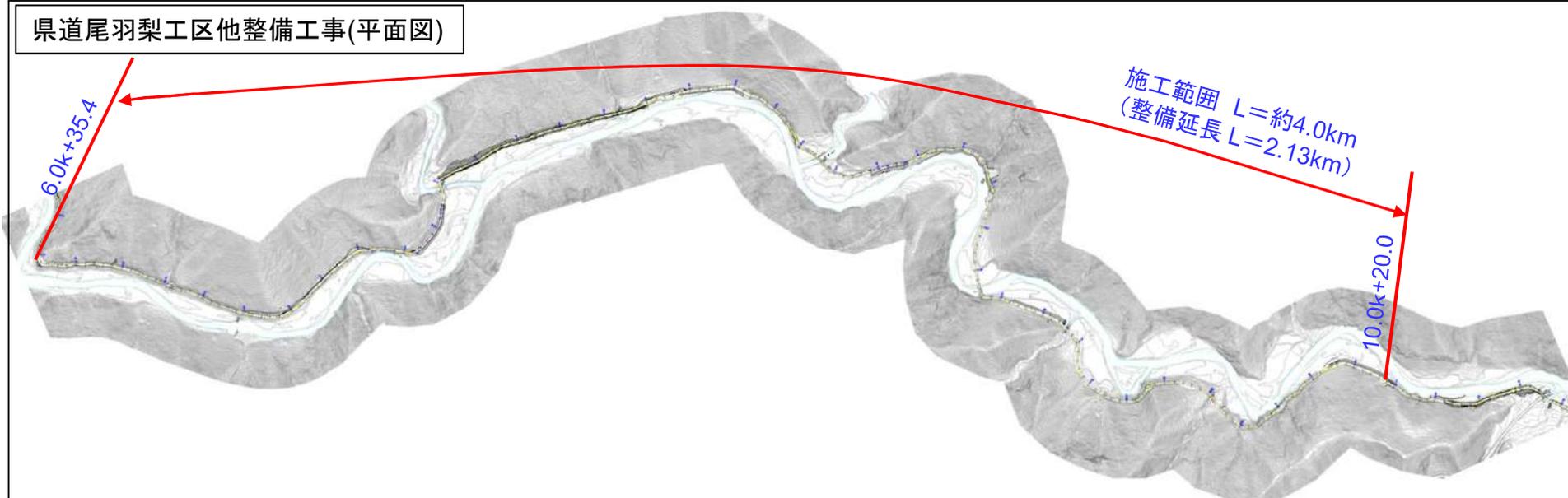
施工中

①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

R3年度～施工中

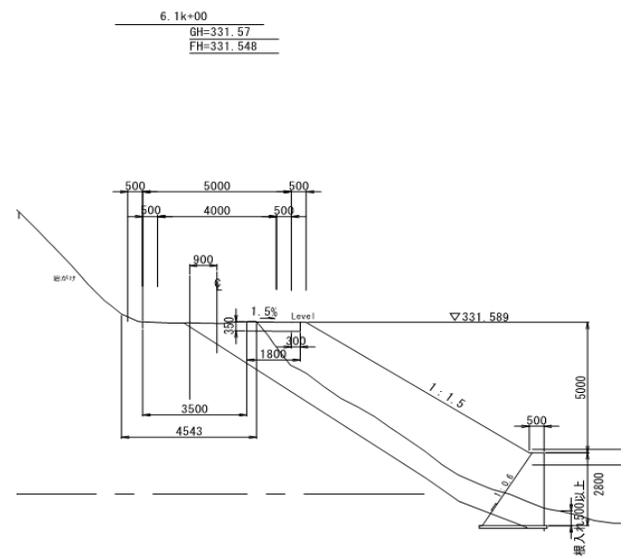


県道尾羽梨工区他整備工事(平面図)

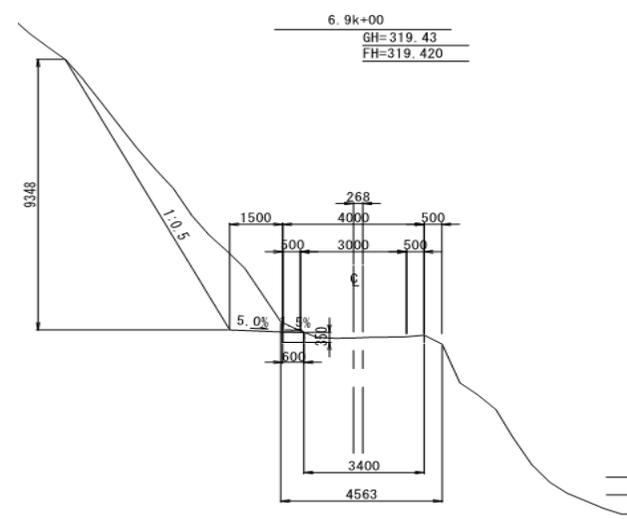
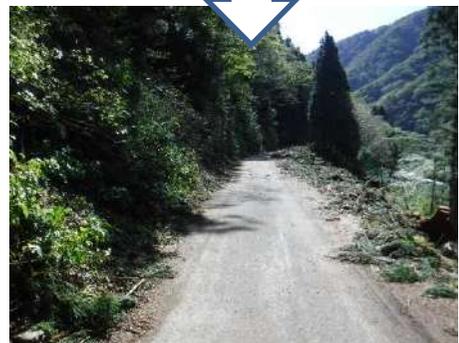


①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

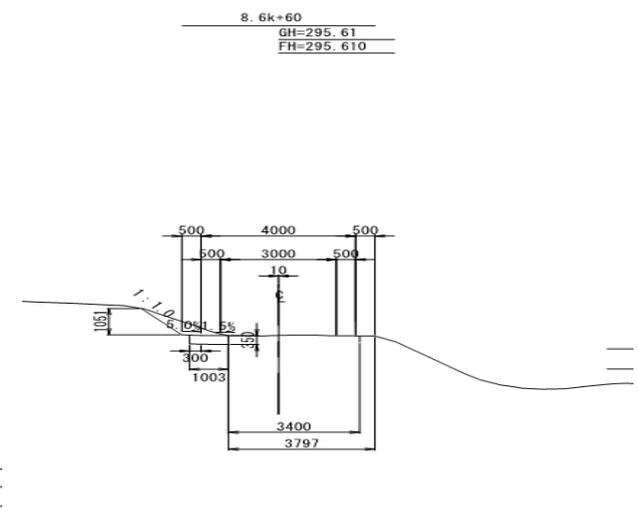
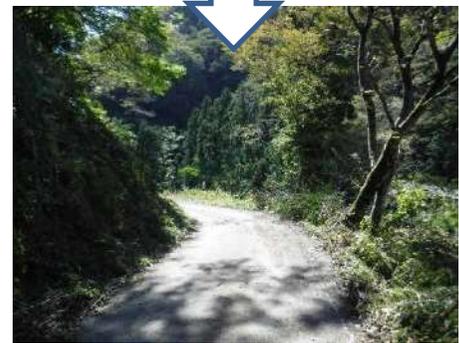
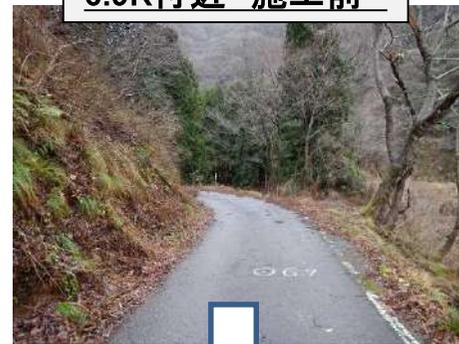
R3年度～施工中



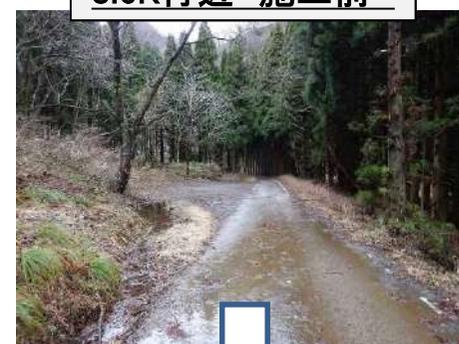
6.1K付近 施工前



6.9K付近 施工前



8.6K付近 施工前



①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備 (工事用道路2号線の引き渡しのため)

R2年度～施工中

- ・工事用道路を県道として引き渡すため、仮設橋梁を本設橋に整備するなどの追加工事を実施
- ・橋梁下部工工事はR3年11月に完成。上部工はR3年度の着手を予定。



②-2 工事用道路として利用した市道奥川並線（路肩補修） R3年度施工中

R3年度上半期に6箇所のうち、3カ所の整備が完了。 今後、不陸整正の実施を予定中



⑪-2 トレイル道の整備(調査施設撤去時の作業道)

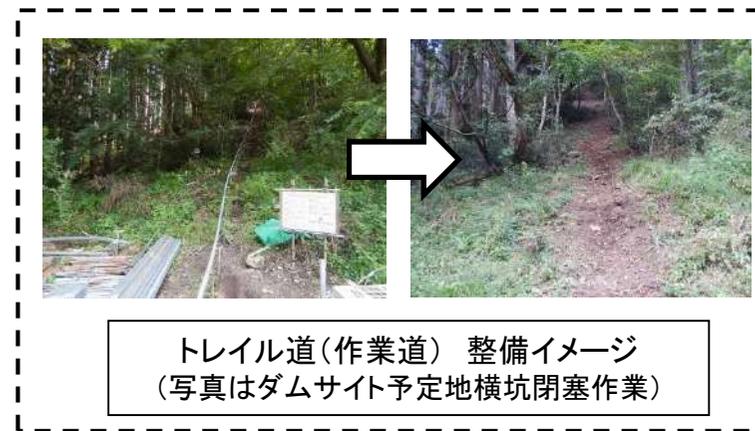
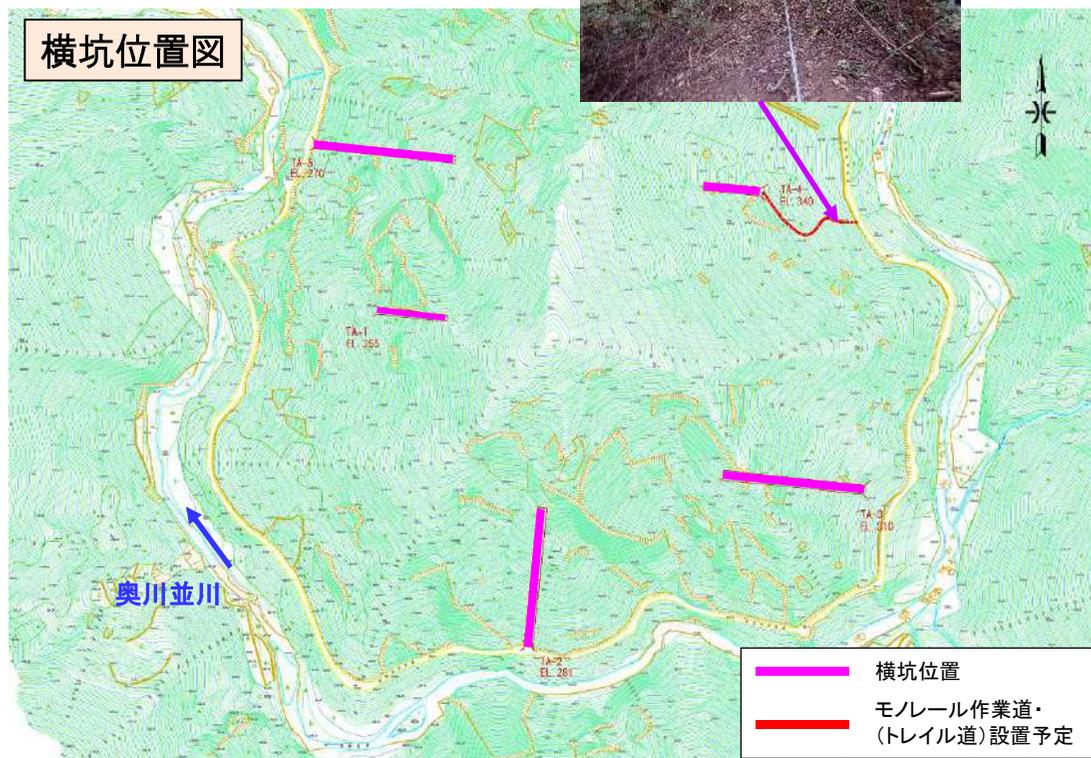
R3年度施工中

R3年度に田戸地区の横坑閉塞の作業道を兼ねたトレイル道の整備を施工中



横坑坑口

横坑内部



⑬-2 ダム事業を通して収集した地域資料の活用

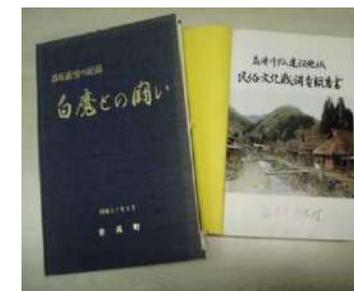
水機構が保有する地域資料の一部(文献、民俗資料等)を、「茶わん祭の館」に設置予定のコーナーで使用する資料として、譲渡を実施。

【地域資料の概要】

- 1) 地誌: 丹生地域の自然・社会・文化などの特性に関する資料
 - ・ 民俗・風土文化に関する風土誌
 - ・ 昭和55年12月豪雪に関する記録
 - ・ 消えゆく里の記録
- 2) 環境調査等資料: 建設所で実施した地質、動植物等の調査資料
 - ① 丹生ダム関連環境調査資料
 - ・ 環境基盤調査(地形、地質、植生、河川形態)
 - ・ 動植物(確認種の状況: 植物、ほ乳類、鳥類、両生類、ほか)
 - ② 高時川の川模様(年間の四季折々の写真)、瀬切れ実態等
- 3) 歴史: 余呉・丹生地域の歴史のあゆみなどに関する資料
 - ・ 余呉町誌 通史編 上巻・下巻
 - ・ 旧中河内小学校に関する記録
- 4) その他
 - ① 自然環境調査報告書
 - ② 水文・気象データ など



広報誌等



地誌



記録映像 (一部)



映像投影状況 (茶わん祭りの館)

【R3年度実施】

地域資料の一部(文献、民俗資料等)を、「茶わん祭の館」に設置予定のコーナーで使用する資料として、譲渡を実施。

⑭-4 集落跡地の整備（道路原形復旧の一環）

小原地区について施設整備にあたり、将来の土地・施設管理について滋賀県・長浜市と調整を行った。
引き続き、施工実施に向けて調整を進める。



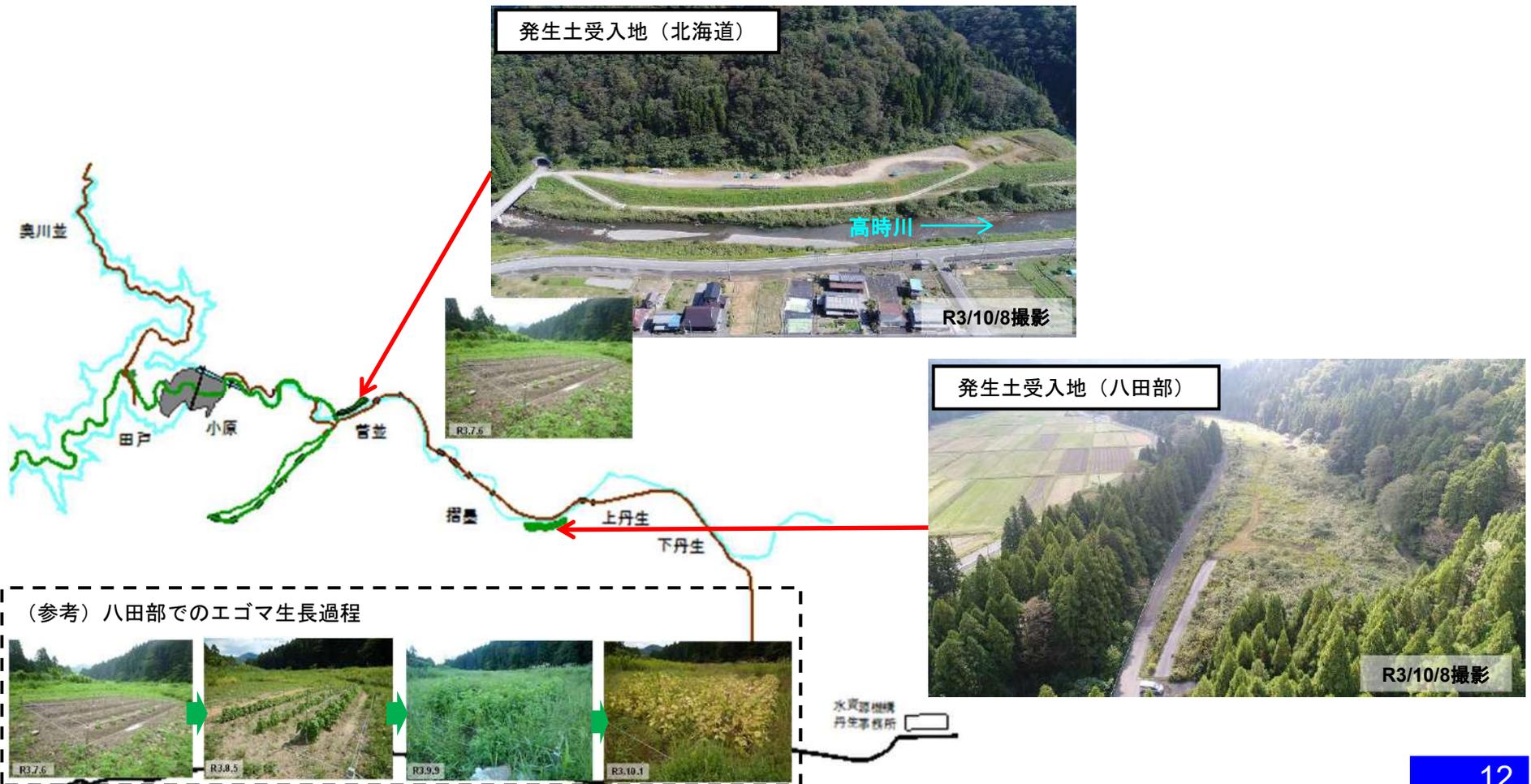
集落跡地イメージ図



小原地区施工状況

⑭-1 残存山林の補償
 ⑭-3 買収済み用地の維持管理
 ⑮-1 発生土受入地の利活用策に沿った基盤整備等

- ・未相続地の相続調査及び地権者との補償協議を実施中。(R3/10現在:進捗率:約36%(1,160ha/3,150ha))
- ・買収用地の滋賀県への引継ぎに向け、協議・調整を実施。
- ・発生土受入地(北海道、八田部)についてエゴマ栽培の試行など、水機構において実施可能な基盤整備等の検討を継続。今後の利活用については検討中。



⑭-6 付替県道妙理谷工区の管理

・付替県道について滋賀県への引き渡しに向け、関係者で合意後、R3年度末より設計等を実施予定。

